

第40回 サッカー定期戦 KOMAZAWA UNIV. 3 × 2 AICHI GAKUIN UNIV.

2点目を決めた東平。しかし試合後チャンスはあったしそこをもっと決めていれば良かったと謙虚に語った
(撮影・深松美里)



40回目の記念すべき定期戦 見事白星を飾る！！

定期戦・三連覇！！

「なるような暑さの中、愛知学院大学の定期戦は行われた。定期戦も今回で40回目になる。熱き戦いが繰り広げられてきたが、今年は三連覇をかけた戦い。大臣杯を目前にして、出場の機会を欲する選手たちにとって監督へのアピールの場にもなった。」

試合開始2分で新川がゴールを決める。出だしは好調だった。しかし、果敢にゴールを狙うも攻守の切り替えが速い。FWの勢いも足りず、ベンチからも監督の機が飛ぶ。18分には、東平のゴールが決まる。続けて2得点を挙げ、三連覇に王手をかけるも、愛学大も簡単には勝利を譲らない。35分にゴール前混戦から抜け出した選手に点を決められる。しかも、暑さが選手の体力を奪う。リスタート時のポジションニングが遅い。1人のボジション崩れると、他も崩れる。リードしつつも余裕はまったく生まれぬ。前半、ゴール前のチャンスは駒大の方が多いが、最後の押しが足りず、ゴールは近いようで遠い存在だった。

山下を印出に代え、挑んだ後半。新川のCKに印出が頭を合わせ点差を広げる。57分に最上、61分に赤尾と選手を投入。67分に赤尾がバレー直撃のシュートを打つなど攻撃陣の動きは良くなるも、守備陣に疲労が見え始める。2点差を詰めた駒大もカウンター攻撃をしかけ駒大選手も掃きさらりをつける。80分に選手を投入し、ライインの裏を突かれ、1点を返された。しかし、駒大も最後の意地を見せ、残り時間11分を守りきった。終了のホイッスルと同時に三連覇を果たした。

「大臣杯前の大事な試合だったけど、暑さのせいもあったし、駒大らしいサッカーができなかった。1人1人の意識を磨きたい。」(桑原)。「大臣杯三連覇という偉業をここで止めたくない。」(新川)。試合後、選手達のコメントからは大臣杯への意気込みが感じられた。定期戦では暑さの為に出し切れなかったものが大臣杯では見られるのではないだろうか。7月5日、本当の熱き戦いが始まる。

(越智千絵子)